

道後地区 地域福祉活動計画

第2期《令和5年度～令和9年度》

基本理念「^{あい}支え^ゆ愛 湯ったり暮らせる 道後の福祉」

五十一番札所石手寺



南無大師 石手の寺よ 稲の花
子規

道後地区地域福祉活動計画策定委員会

(道後地区社会福祉協議会)

五十一番札所 石手寺

石手寺は、真言宗豊山派の寺院。本尊は薬師如来。仁王門は国宝。四国八十八箇所五十一番札所で、初詣の厄除詣の参詣者数は県内随一であり、道後温泉近郊のため、遍路の他にも観光客で賑わっている。

地域福祉活動計画の策定にあたって

このたび、道後地区社会福祉協議会では、「第1期地域福祉活動計画（平成30年度～令和4年度）」に引き続き「第2期地域福祉活動計画（令和5年度～令和9年度）」を策定することとしました。策定するにあたって大事なことは、過去5年間の活動計画で基本計画が予定どおり実施できたか否か進捗状況等を十分検証した後、次の5年間の活動計画を策定することとっております。

しかしながら、この3年間新型コロナウイルス感染症拡大のためほとんどの事業・行事等の中止あるいは縮小を余儀なくされる事態となり、感染症の収束を待つという“待ちの姿勢”であったと思われます。当協議会においては、このような時期だからこそ“ピンチをチャンス”と捉え、工夫を凝らしてできることから取り組むことにしました。

その結果、「道後温泉入浴体験事業」は、3密を避け入浴を中止し、施設見学をしっかりと行うことで事業を継続実施しました。また、当初の計画に上げていなかった「独居高齢者の福祉に関するアンケート」をコロナ禍の中実施することができました。これに伴い「防災頭巾」を各サロンで作成し、独居高齢者約100名の皆様に贈呈しました。さらに、「第2版道後地区福祉&防災マップ」を5年ぶりに刷新し、地区内全戸にハザードマップとして利用を願いますべく配布しました。

このように、コロナ禍であってもけっして立ち止まったり後退したりすることなく前向きに事業を推進することができたのは、関係者の皆様のお力添えがあったからこそと感謝申し上げます。

さて、現在のウィズコロナ・ポストコロナ時代からアフターコロナ時代への移行を見据えた福祉活動計画を実行するためには、公私協働が不可欠であります。地域が抱える福祉課題について行政だけで対応するのは困難であり、ボランティア団体や近隣住民等による支え合い、助け合い、また福祉事業やそれ以外の民間事業の積極的な関与が求められています。

最後に、「第2期地域福祉活動計画」においては、福祉と防災が連携し“地域の防災力”について力を注ぐとともに、地域福祉活動の一層の充実発展のため、各事業に積極的に取り組んでまいります。

今後とも引き続き、ご支援ご指導賜りますようお願い申し上げます。

令和5年2月

道後地区社会福祉協議会
会長 藤家



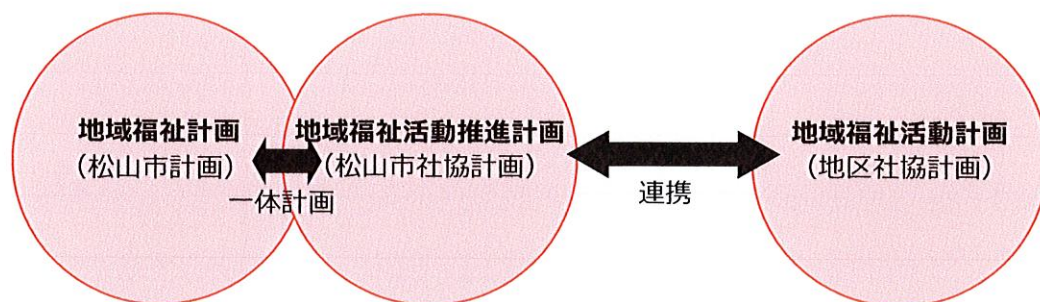
目 次

松山市における地域福祉に関する計画の連携と比較	1
道後地区の概要	2
道後地区社会福祉協議会の概要	3
道後地区カルテ	4
道後地区地域福祉活動計画策定委員会の開催状況	6
道後地区地域福祉活動計画策定委員会名簿	7
道後地区地域福祉活動計画	8
道後地区地域福祉台帳	11
道後地区社会福祉協議会の年間行事概要	18
参考資料 最近4ヵ年の活動記録	19
■令和2年3月福祉だより（抜粋）	20
■令和3年3月福祉だより（抜粋）	23
■独居高齢者の福祉に関するアンケート（抜粋）	26
■令和4年3月福祉だより（抜粋）	30
■ちーむ湯築・桑原・道後（防災頭巾製作と贈呈）	33
■令和4年度親子自主防災学習会	34
■令和4年度道後七夕まつり～願いよとどけ～	36
道後地区福祉&防災マップ（縮小版）	巻末

松山市における地域福祉に関する計画の連携と比較

地域福祉の推進を図るためには、下記の計画が内容を一部共有したり、策定過程を共有する等、相互に連携し一体となって進めることが重要であり、互いに補完・補強しあう関係にあります。

【イメージ図】



【地域福祉に関する計画の比較】

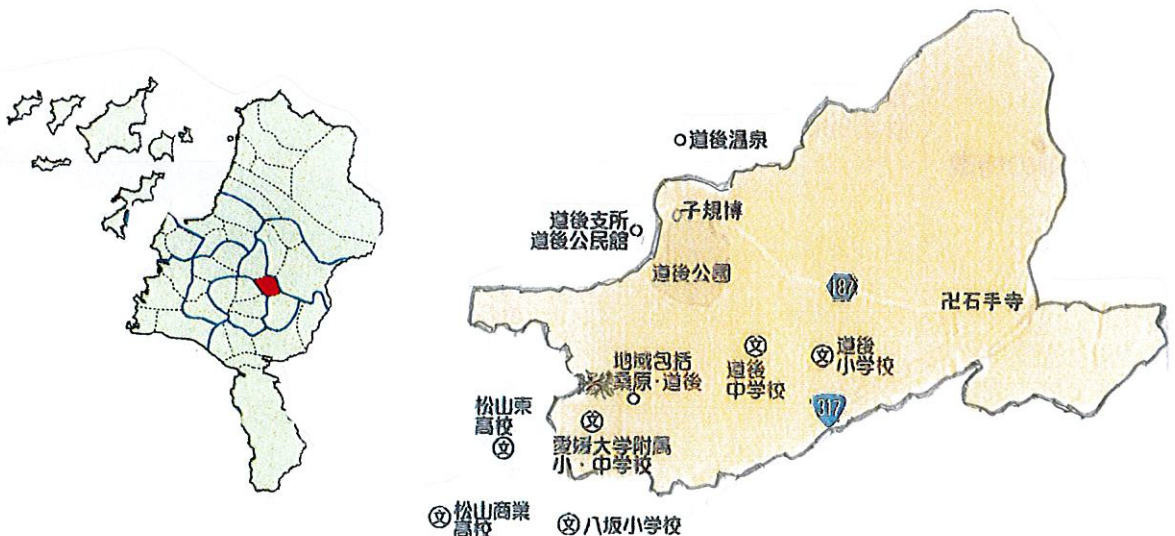
計画	地域福祉計画・地域福祉活動推進計画 (このまちのえがおプラン)	地域福祉活動計画
策定主体	松山市・松山市社協	道後地区社協
対象地域	松山市内	地区内
実施期間	5年	5年
基本目標 (基本理念)	みんなが つながる 支える まちづくり	「支え愛 湯ったり暮らせる 道後の福祉」
計画の特徴	<p>【第4期計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①支えあいの心を育む ②みんながつながり参加できる環境づくり ③丸ごと支援のしくみづくり ④福祉サービスの健全な発達と適切な利用促進 <p>以上の4項目を個別目標に掲げ、住民一人ひとりや住民組織、ボランティアグループ、NPO等の関係団体、学校、事業所等、地域の多様な主体がそれぞれの役割を担いながら、互いにつながり、支えあうことで、“誰もが暮らし続けたい”と思えるまちづくりを目指す。</p>	<p>【第2期計画】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①地区社協の基盤整備 ②福祉教育とボランティア ③在宅福祉・生きがい介護予防サービス ④各団体との連携・ネットワーク ⑤その他地域福祉向上に関すること <p>以上の5項目を基本とし、地域性を活かした事業を計画的に展開する。地区社協が中核となって、住民の主體的参加を基本とした地域福祉活動をより計画的・具体的に進めるとともに、地区社協の基盤強化を図る。</p>

■ 道後地区の概要

(令和5年2月1日現在)

区分	道後地区	松山市(参考値)
面積	2.10k m ²	429.06k m ²
世帯数(世帯人口)	5,854 世帯 (1.90 人)	253,906 世帯 (1.98 人)
人口	11,172 人 (男 5,144 人 女 6,028 人)	503,232 人 (男 236,468 人 女 266,764 人)
65歳以上高齢者 (高齢化率)	2,852 人 (25.5%) (男 1,158 人 女 1,694 人)	144,506 人 (28.7%) (男 60,313 人 女 84,193 人)
75歳以上高齢者 (総人口比)	1,471 人 (13.2%) (男 531 人 女 940 人)	75,745 人 (15.1%) (男 28,558 人 女 47,187 人)
独居高齢者数 (申請数)	86 人 (男 6 人 女 80 人)	5,841 人 (男 987 人 女 4,854 人)
介護度別 (R4.4.1)	要支援1・2 252 人 要介護1～5 372 人	要支援1・2 11,724 人 要介護1～5 19,507 人

道後地区は、「いで湯と文学の町」として、また松山市の中心として発展してきました。特に観光資源は豊富で道後温泉をはじめ、伊予の国を支配した豪族河野氏の本拠地湯築城跡や伊佐爾波神社、石手寺の神社仏閣、そして正岡子規を顕彰する文学の殿堂子規記念博物館など他地区に類を見ない文化財や史跡のお膝元で暮らすことは、地区住民の誇りでもあります。



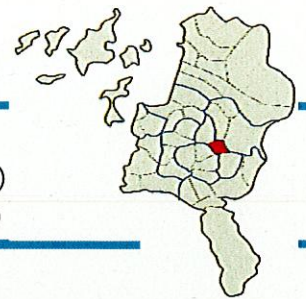
■ 道後地区社会福祉協議会の概要

主な活動拠点	道後支所・道後公民館・石手分館
事務拠点	会長宅
構成メンバー	会長・副会長・事務局長・事務局長補佐・理事（8名） 顧問・評議員（民生児童委員24名） 啓発調査部長・援護部長・会計・監事（2名）
理事会等の開催	評議員会（随時）・理事会（年度1回）・総会（年度1回）
構成関係団体	民生児童委員協議会・町内会連合会・自主防災連合会・公民館 高齢クラブ連合会・小学校・中学校
主な自主事業	地域福祉サービス事業、福祉学習事業、共同募金活動、 ふれあい・いきいきサロン事業、福祉講座開催、 福祉だより、福祉&防災マップ作成
サロン数	ふれあい・いきいきサロン 2サロン 地域交流サロン 1サロン
民生児童委員数	24名（男性 7名 女性17名）
独居高齢者 みまもり員数	9名（男性 2名 女性 7名）

■ 地区社協の目指すもの

2022年の道後地区の動きは、2015年と比較して男女共人口は漸減しています。一方、65歳以上の人口は増え続け、高齢化率において22.3%から25.3%へと3ポイント増加する等、確実に少子高齢化に向かっています。

この道後地区は温泉を中心に古くから栄えた町で、湯の如くあたたかい人情と、子ども・お年寄りに優しく交通アクセスやショッピングなど暮らしやすい町として市内でも上位にランクされています。この良さをいつまでも失うことなく関係機関・団体と連携・協働し、地域住民が継続して安心安全で住みやすい元気の出る町を目指したいと考えています。



どうぞ

道後地区カルテ

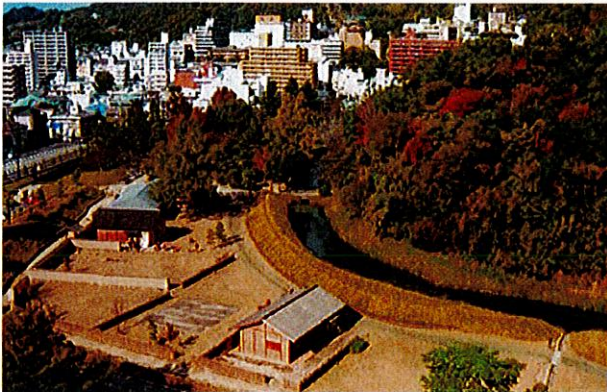
面積：2.1 km²

人口：11,172人（高齢化率 25.5%）

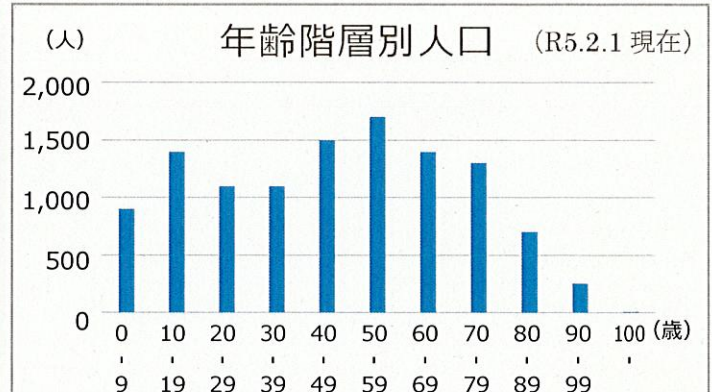
世帯数：5,144世帯（R5.2.1 現在）

【地区の特色】

道後地区は、政治、経済、文化の中心として古くから発展しており、まさに「道後温泉」の名を冠とした歴史と文化の由緒ある地区名である。道後温泉本館の南東の方角に中世後期に伊予国を支配した河野氏の湯築城跡や子規記念博物館がある道後公園、また、東に四国八十八ヶ所 51 番札所「石手寺」など観光客や地区住民が訪れる憩いの場となっている。



道後公園 湯築城資料館



【地域住民からみた地域の状況】

地区の強み	<ul style="list-style-type: none"> ・道後温泉や道後公園などの観光資源が多い ・病院施設が充実している ・平坦な土地で、災害も少なく住みやすい ・治安がよい ・中心市街地に近く通勤、通学等に便利である ・駅周辺地域は交通の便がよい ・病院、スーパー、コンビニ、学校など生活関連施設に恵まれており、移動図書館や移動スーパーも来るなど生活に便利である ・転校生が多い地域であるが、子どもたちが溶け込みやすい環境にある ・教育熱心な地区であり、通学路の見守り活動等も盛んである ・ホテルや旅館が多いため、大規模災害などの際に受け皿になる
地区の弱み	<ul style="list-style-type: none"> ・自力で移動できない高齢者には、交通に不便な地域が一部ある ・公民館、集会所の老朽化 ・集会所が少ない（駐車場が狭い） ・マンションなど、町内会に入らない世帯が増加している ・児童が遊べる公園が少ない ・災害時の避難場所が遠い地域がある
福祉課題 地域が抱える	<ul style="list-style-type: none"> ・孤立した高齢者の増加 ・高齢者は公民館、分館の階段が困難で利用しにくい（道後公民館は近年中にエレベーターを設置予定） ・一部移動手段の不便な地域がある ・住民の防災意識が低い ・地域行事への参加者が少ない ・役員やお世話役、活動に関わる後継者不足 ・マンションの増加や転勤族が多いため、近所づきあいが希薄化している ・人が集まり、活動する場所が少ない

道後地区社会福祉協議会

ささ あい ゆ
支え愛 湯ったり暮らせる 道後の福祉

構成団体	地区民協・町内会連合会・自主防災連合会・小学校・中学校・公民館・支所・高齢クラブ連合会	
主な取り組み	活動内容	
福祉&防災 MAP の作成	地区内の社会資源やバリアフリーの整備状況など福祉分野の情報に加え、防災の視点も取り入れた MAP を作成し、地域住民全戸に配布し、役立ててもらっています。	
サロン交流会の開催	毎年1回、サロン代表者・世話人交流会を開催し意見交換を行うなど、3サロン（いきいき2、地域交流1）の支援を継続して行っています。	
福祉講座の開催	道後・湯築地区社協が合同で、年度2回、高齢者の生活など福祉全般および防災に関する講演会を開催しています。	

道後小3年生道後温泉入浴体験

道後小学校と協働し、毎年10月頃3年生児童を対象に歴史的建造物である道後温泉本館において地域の歴史を学ぶとともに、公衆浴場での入浴体験を通して入浴マナーの向上を図ることを目的として、平成24年度から実施しています。※本館保存修理工事中は飛鳥乃湯泉に場所を変え、コロナ禍に伴い周辺施設の見学のみ実施。



<地区社協が目指すもの>

道後地区は、道後温泉をはじめ子規記念博物館、湯築城跡のある道後公園など類をみない文化財や史跡があります。道後地区社協では「支え愛 湯ったり暮らせる 道後の福祉」を基本理念とし、温泉で育まれた温かさと支え合う心を大切にした福祉活動を目指しています。また、子どもや高齢者、障がい者に優しく暮らしやすいこのまちの良さを後世に引き継いでいきます。今まで地区において、取り組みが不十分であった防災関連についても地区社協はもとより、関係機関・団体と連携・協働するまちづくりを目指していきます。

地区の状況	■地区民協	22名 2名 9名	■町内会・自治会・区長会等	27団体
	民生委員		■高齢クラブ	1クラブ
	主任児童委員		■子ども会	0団体
	みまもり員	■自主防災組織	3組織	
	■まち協の設立	—		

平坦な土地で比較的災害の少ない地区であるため、住民の防災への意識が低くなりがちであることから、地区社協では医療・福祉だけでなく防災に関する情報を1つにまとめた「福祉&防災MAP」を作成しています。また、マンションの増加や通勤族も多いことから、町内会の加入率も課題となっていますが、子どもの道後温泉入浴体験等は地域への愛着を育むだけでなく、地域活動との接点の少ない子育て世帯の保護者の耳にも必ず届くため、地域を生活の一部に感じるきっかけとして注目されています。退職後の居場所としてサロン交流会等は拠点となることから、現在の活動は次の世代につなげる礎になっているといえるでしょう。



☆道後地区地域福祉活動計画策定委員会の開催状況

1. 委員会メンバーの選定

名簿のとおり（7頁）

2. 策定委員会の開催

策定委員会において各事業の評価と課題について自由活発な意見交換を行い、洗い出し集約することによって今後5年間の活動計画を策定する。

回	開催日	会場	参加者	内容
第1回	R4. 9. 14 (水) (10:00~11:30)	道後 公民館	10名	<ul style="list-style-type: none"> 策定委員会委員長ほか役員選出 地域福祉活動計画（説明） 策定方針および今後の会議の進め方
第2回	R4. 9. 26 (月) (10:00~12:00)		13名	<ul style="list-style-type: none"> 基本理念（基本テーマ）の決定 地域福祉活動5カ年計画の分類 基本計画の洗い出し（第1段階）
第3回	R4. 10. 17 (月) (10:00~12:00)		14名	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画の作成（第2段階） 地域福祉台帳の作成（第1段階）
第4回	R4. 11. 4 (金) (15:00~16:30)	道後 支所	7名	<ul style="list-style-type: none"> 基本計画の作成（完成） 地域福祉台帳の作成（第2段階）
第5回	R4. 12. 5 (月) (15:00~16:00)	道後 公民館	15名	<ul style="list-style-type: none"> 地域福祉台帳の完成 地域福祉活動計画ほぼ完成 策定委員会閉会（集合写真撮影）



委員会風景



閉会記念写真

道後地区地域福祉活動計画策定委員会名簿

役 職	氏 名	公 職 名 等
委員 長	藤 家 壽	道後地区社会福祉協議会会長
副委員 長	戒 田 民 子	道後地区民生児童委員協議会会長
委 員	野 本 勝	道後地区町内会連合会副会長
委 員	上城戸 清 隆	道後地区町内会連合会副会長
委 員	出 口 修 一	道後地区町内会連合会会計
委 員	向 井 益 子	道後公民館館長
委 員	水 口 淳	道後支所長
委 員	長 野 喜久男	湯築城資料館館長
委 員	井 手 一 隆	道後地区自主防災会連合会
委 員	山 本 章 文	包括支援以外-湯築・桑原・道後
委 員	伊 藤 理 恵	包括支援以外-湯築・桑原・道後
委員（事務局）	星 野 英 子	道後地区民生児童委員
委員（事務局）	藤 井 康	道後地区民生児童委員
委員（事務局）	山 田 明 美	道後地区民生児童委員
委員（事務局）	三 好 誠 一	道後地区民生児童委員
委員（事務局）	三 好 美己恵	道後地区社会福祉協議会
コーディネーター	秋 元 裕 貴	松山市社会福祉協議会
コーディネーター	只 信 康 子	松山市社会福祉協議会
コーディネーター	福 島 さおり	松山市社会福祉協議会

順 不 同

道後地区地域福祉活動計画

1. 基本理念

支え愛 湯ったり暮らせる 道後の福祉

2. 基本計画

(1) 地区社協の基盤整備

実施計画	年度計画					5年計画
	5	6	7	8	9	
総会および理事・評議員会の開催	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	総会は、体制の充実と福祉活動事業の企画・運営などについて検討を行うため、年度1回開催する。なお、理事・評議員会は必要に応じて随時開催する。
「福祉だより」および「福祉&防災マップ」の発行	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	「福祉だより」は、地区住民に福祉事業の啓発と理解を得ることを目的に、年度1回3月に発行する。(全戸配布5000部) 「福祉&防災マップ」は平成28年度初版を発行し、令和3年度第2版を作成した。(全戸配布5000部)
共同募金活動	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	地区共同募金会と協力して、地区住民に共同募金の理解を得て、個別・大口募金活動を行う。
地区社協の拠点整備	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	将来に向けて、拠点整備を関係機関とともに協議検討を行う。(当面は支所・公民館を拠点として利用する。)
地区社協組織体制の整備	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	各部会(啓発調査部、援護部)の機能強化を図り、相互に連携した事業の実施を行う。感染症時代の体制を整える。

(2) 福祉学習とボランティア

実施計画	年度計画					5年計画
	5	6	7	8	9	
道後温泉入浴体験事業	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	毎年小学校3年生児童を対象にした入浴体験を実施している。本館修復工事中やウィルス感染防止のため入浴できないときは、施設等を見学して歴史学習する。
保育園・子育て支援センターとの交流	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	保育園・子育て支援センターが行う行事等に参加し、園児との交流を促進する。
福祉学習事業	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	より多くの参加が得られるテーマ・内容・講師を選び、年度2回、福祉講座を開催する。
ボランティア育成	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	ボランティア団体（自主防災連合会、高齢クラブ、子ども見守り隊など）への活動支援を行い、より一層の充実、育成に努める。

(3) 在宅福祉・生きがい介護予防サービス

実施計画	年度計画					5年計画
	5	6	7	8	9	
ふれあい・いきいきサロン事業	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	サロン3カ所の支援を継続して実施する。地域交流サロンとして残ったサロンを継続できるように支援する。また、サロン代表者交流会（年度1回）を実施し意見交換等を行う。
独居高齢者・在宅ねたきり高齢者訪問	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	敬老週間に合わせて訪問する。その他、民生委員・みまもり員と協働で近況把握や安否確認を行う。
地域福祉サービス事業	検討	⇒	⇒	⇒	⇒	協力会員・利用者の確保に努め、現在まで未実施の協力会員活動の実施に向け検討を行う。
独居高齢者給食訪問	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	状況を調査した後、ニーズが多いと認められた時、包括支援センターと協働で対応する。

(4) 関係団体との協働

実施計画	年度計画					5年計画
	5	6	7	8	9	
民児協との連携・協働	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	地区の民生児童委員（全員道後地区社協の評議員を兼務）とより一層の連携・協働を図る。
公民館事業との連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	三世代交流七草がゆの会・三世代交流もちつき大会など伝統行事を通して世代間交流の会に積極的に参加協力する。
町内会連合会との協働	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	「福祉だより」「福祉&防災マップ」の配布および共同募金活動等への協力を要請するとともに地区社協事業への参加協力を促進する。
防災組織等との協働	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	市消防署・公民館・地区自主防災連合会・町内会連合会・消防団・女性防火クラブ等と連携を図り、災害が発生した際避難所開設等のネットワーク構築を目指すとともに、積極的に防災訓練にも参加をする。
高齢クラブ支援	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	道後愛宕会慰霊祭などに参加する。 小学校の授業の一環の「昔の遊び」を協働して行う。
民間企業、団体との連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	地区内の医療機関や福祉施設、民間企業等、関連団体と連携し、地域における見守り体制の強化を図る。
地域包括支援センターとの連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	高齢者の諸課題などについて常に連携・協働して対応する。
学校との連携	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	小・中学校との連携強化に努め、学校が実施する各種行事に積極的に参加協力を行う。

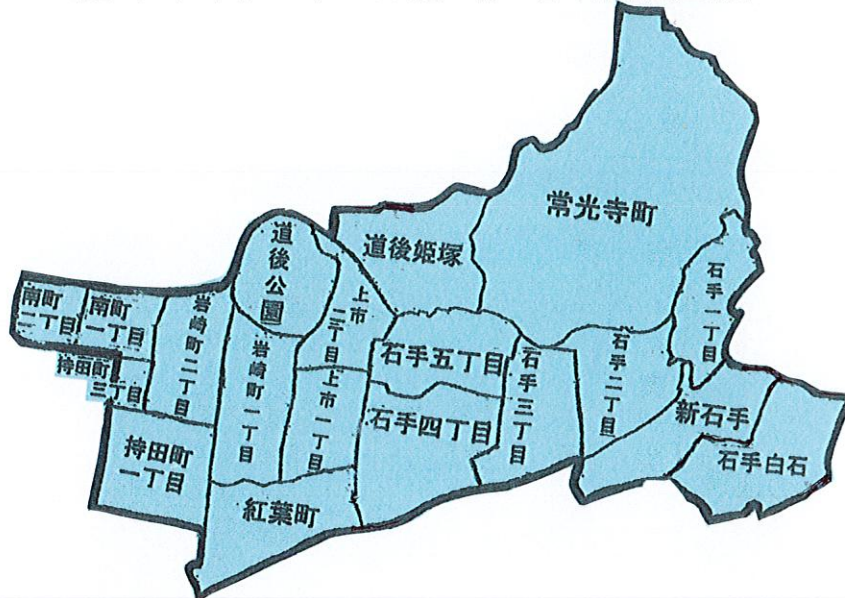
(5) その他

実施計画	年度計画					5年計画
	5	6	7	8	9	
ひとり親家庭見守り	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	家庭の現状把握と見守りを地区民児協と連携体制で行う。
「敬老の集い」への協力	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	敬老の日に実施する「敬老の集い」について参加協力するとともに、高齢者への商品券の配布を行う。
各種大会・研修会への参加	充実	⇒	⇒	⇒	⇒	道後公民館主催のグラウンドゴルフ大会・研修会・文化祭・成人式などへ積極的に参加する。 市社協が開催する大会や会議・研修会・催し物・街頭募金活動へ積極的に参加する。

※本計画については随時進捗状況管理を行いながら、定期的に見直すことでより一層の充実を図ります。

道後地区地域福祉台帳

— 鍵穴式（キーホール方式）地域福祉台帳 —



*** 地域福祉台帳の見方について ***

- この台帳は福祉のまちづくりの観点から、人材、団体、仕組・行事等、拠点・施設等の資源を町ごとにまとめたものです。
- この台帳の最初に記載の、地区全体の団体、仕組・行事等は各町に共通する内容であり、町別ごとの欄には、町に固有の仕組・行事等町に所在する拠点・施設等を載せています。なお人材欄は、令和5年2月1日現在、任期中の氏名を載せています。
- 各町の掲載順については、東から西へと並べています。

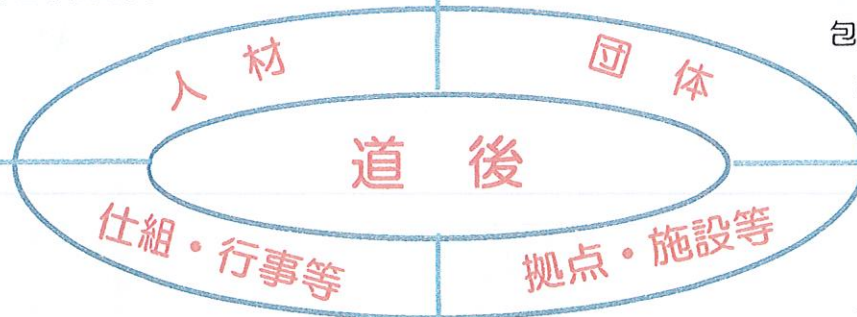
*** 略号一覧 ***

Ⓜ 町内会連合会	ⓐ 公民館	Ⓩ 自治会
Ⓢ 地区社会福祉協議会	Ⓜ 民生児童委員協議会	Ⓩ 主任児童委員
Ⓜ 独居高齢者みまもり員	Ⓜ 共同募金会	Ⓩ 高齢者クラブ連合会
Ⓢ 地区自主防災連合会	Ⓜ 石手消防団	* 地区外

- ㊦ 町内会連合会会長（町内会長）
 - ㊧ 公民館長、分館長
 - ㊨ 自治会長及び役員
 - ㊩ 社会福祉協議会長及び役員
 - ㊪ 民生児童委員協議会長及び役員
 - ㊫ 主任児童委員
 - ㊬ 独居高齢者みまもり員
 - ㊭ 共同募金会長
 - ㊮ 高齢クラブ連合会会長及び役員
 - ㊯ 自主防災連合会
 - ㊰ 石手消防団員
 - ㊱ 松山市議会議員
- 松山市東少年警察協助手員

- 町内会連合会（各町内会）
- 公民館、分館
- 社会福祉協議会
- 民生児童委員協議会
- 共同募金会
- 高齢クラブ連合会
- 自主防災会連合会
- 消防団
- 女性防火クラブ
- 中学校PTA
- 小学校PTA
- 児童クラブ

- 交通安全協会
- 防犯協会
- 道後体育協会
- 松山東地区少年警察協助手員
- ボランティア協会
- セーフティ道後連絡協議会
- 子ども見守り協力隊
- 石手川緑地公園管理協力会
- 石手青年会（獅子舞太鼓）
（相撲大会）
- 各種サロン
- 成人式実行委員会
- 包括支援センター
- 湯築・桑原・道後



- 道後公民館各種事業
- 三世代交流もちつき大会
- 三世代交流七草がゆの会
- 道後地区成人式
- 地区文化祭・グランドゴルフ大会
- 少年球技大会など
- 石手分館 歩こう会・盆踊り・運動会
- 地区敬老の集い
- 地域福祉サービス事業
- 福祉講座
- 道後温泉入浴体験事業
- ふれあいいいききサロン事業
- 湯築城資料館各種事業
- セーフティ道後小連絡協議会
- 地方祭みこし巡町
- 子ども相撲大会
- 子ども獅子舞・太鼓

- 道後公園 各児童公園
- 道後支所
- 道後公民館
- 石手分館
- 道後温泉
- 子規記念博物館
- 湯築城資料館
- 石手寺・地藏院
- 大山積神社
- 義安寺
- 岩崎神社
- 伊佐爾波神社

- 地域包括センター湯築・桑原・道後
- 愛媛大学附属小中学校等
- 道後中学校
- 道後小学校
- 道後保育園
- 石手幼稚園
- *育英幼稚園
- *持田幼稚園
- 道後交番
- 東消防署
- 道後ポンプ蔵置所
- 兼水防倉庫
- *県民文化会館
- *愛媛県総合福祉会館
- 南町郵便局
- 石手郵便局
- 各病院多数
- 店舗等多数

- 町防 染川延久
- 町防 小西久子
- 自 戒田 淳
- 防 宮川 敬
- 社民共 戒田民子
- 社民 三好誠一
- 民 藤本美佐代
- 社 三好美己恵
- み 堀川令子
- 議 田坂信一

町内会
自主防災会

石手白石

- 石手地区運動会
- 石手地区盆踊り大会
- 石手分館歩こう会
- 石手白石自主防災

- *ひがしの北公園
- 石手まつもと内科
- 循環器クリニック
- あき整形外科
- リハビリクリニック
- *栗林病院
- *育英幼稚園

- 町防 一色悦治
- 町防 平塚義久
- 高 川久保哲夫
- 民 山内留美
- 民 藤本美佐代
- み 堀川令子

町内会
自主防災会

新石手

- 石手地区運動会
- 公園の清掃と草刈り石手地区盆踊り大会
- 石手分館歩こう会
- 町内会自主防災会

- 新石手公園
- 愛媛信用金庫溝辺支店
- 辻田歯科医院
- *渡部内科クリニック
- 小規模多機能ホーム新石手
- *四国交通
- セブンイレブン新石手店
- レディ薬局道後石手店

- 町防 藤家誠紀
- 社防 藤家壽
- 民 高橋康博
- み 笠松佳代子

町内会
自主防災会

石手1

- 石手地区運動会
- 石手1丁目草刈隊
- 石手地区盆踊り大会
- 石手分館歩こう会
- 町内会自主防災

- 岩塚公園
- セブンスター石手店
- マツモトキヨシ
- ドラッグストア
- ローソン石手1丁目店
- ときわガーランド
- *高齢者総合福祉センター道後

- 町防 藤家誠紀
- 町防 岡本一照
- 町防 石丸豊
- 社防 藤家壽
- 民 松本史孝
- 民 矢野富美江
- 民 高橋康博
- み 村井純子
- み 笠松佳代子

町内会
自主防災会

常光寺

- 石手地区運動会
- 石手地区盆踊り大会
- 石手分館歩こう会

- 石手寺
- 石手幼稚園

- 町防 石丸豊
- 自 大野正二
- 民 松本史孝
- 民 矢野富美江
- 民 村井和子
- み 村井純子
- み 堀川令子

町内会
自主防災会

石手2

- 石手地区運動会
- こども獅子舞・太鼓
- こどもすもう大会
- 石手2丁目草刈隊
- フレアイサロン石手
- 石手地区盆踊り大会
- 石手分館歩こう会
- 町内会自主防災

- 石手川緑地公園
- 石手寺 地蔵院
- 大山積神社
- 石手郵便局
- 道後公民館石手分館
- 石手ポンプ蔵置所
- 渡部鍼灸院
- 愛媛近鉄タクシー
- 高齢者住宅デイサービス
ひがし野 夢の石手
- ヘルパーステーション
ひびき
- デイサービス リハコミュ
てらよこ
- ファミリーマート
石手2丁目店

- 防 岡本一照
- 公民 村井和子
- 民 矢野富美江
- み 村井純子
- 消 吉野 浩三

町内会
自主防災会

石手3

- 石手地区運動会
- 石手地区盆踊り大会
- 石手分館歩こう会
- 町内会自主防災

- 石手川緑地公園
- 児童公園
- 多目的広場
- 放課後等デイサービス
なないろの羽

- 町社共防 吉岡権右
- 町防 出水正雄
- 町防 本田次郎
- 町防 檜垣庄介
- 公社共防 向井益子
- 社民 山田明美
- 民 池田義紀
- 民 高須賀満江
- み 梅末千恵
- み 西村珠美

町内会
自主防災会

石手4

- 石手地区運動会
- 石手地区盆踊り大会
- 石手分館歩こう会
- 町内会自主防災

- 石手川緑地公園
- 道後小学校
- 道後児童クラブ
- 浦岡胃腸クリニック
- はやし歯科
- 訪問看護ステーション
えひめ地球号!
- あいあむ
- 放課後デイサービス

- 防 檜垣庄介
- 町防 見留英路
- 町防 王 森岭
- 公社共高
- 油野秀樹
- 公社民 藤井康
- 民 三好裕子
- み 梅末千恵
- 消 中村路敏

町内会
 自主防災会
 医療生協自主グループ

石手5

石手地区運動会
 石手地区盆踊り大会
 石手分館歩こう会
 町内会自主防災

県警第3庁舎
 天理教愛媛教務支庁
 ファミリーマート
 道後石手店

- 町防 松田誠次
- 民 三好裕子
- 民 京河一臣
- み 梅末千恵

町内会
 自主防災会

道後姫塚

町内会自主防災

湯月公園
 義安寺 伊佐爾波神社
 道後保育園・
 子育て支援センター
 道後温泉病院
 にぎたつ会館
 ユースホステル松山
 道後プリンスホテル
 湯快リゾート道後彩朝楽
 デイサービスセンター
 みらいずひめd u k a

- 町社共防
- 上城戸清隆
- 町み防 西村珠美
- 町防 久保真理子
- 町防 西村重男
- 町防 河端美香
- 民 山口ひとみ
- 民 戸田一美
- 公社共防
- 向井益子

町内会
 自主防災会

紅葉町

石手川緑地公園清掃
 町内会自主防災

石手川緑地公園
 市営湯渡団地
 石手内科
 居宅介護支援事業所
 パラディはるみかん
 よんでんライフケア道後

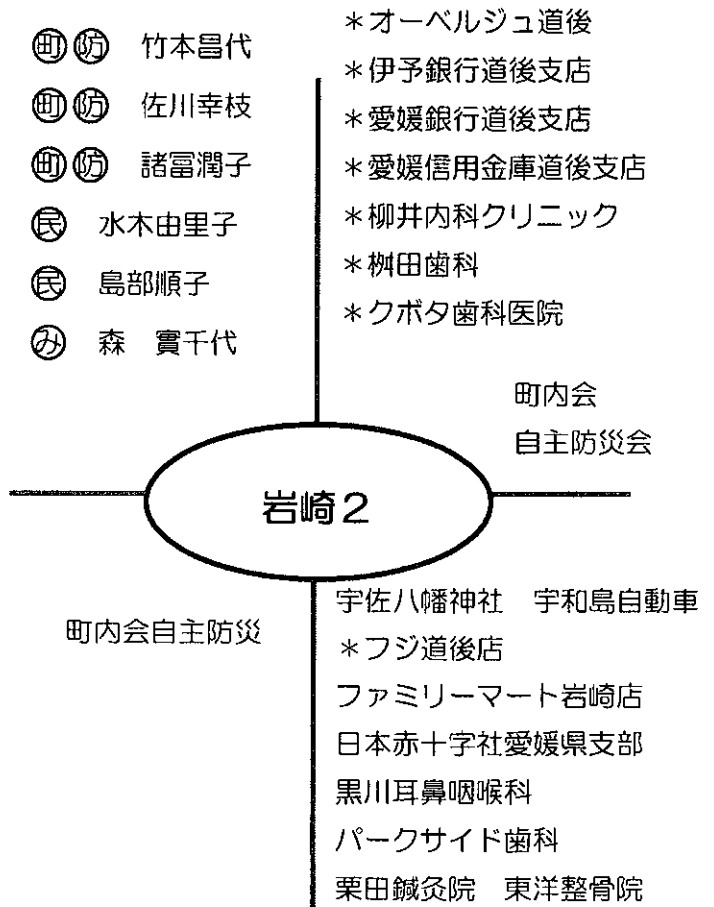
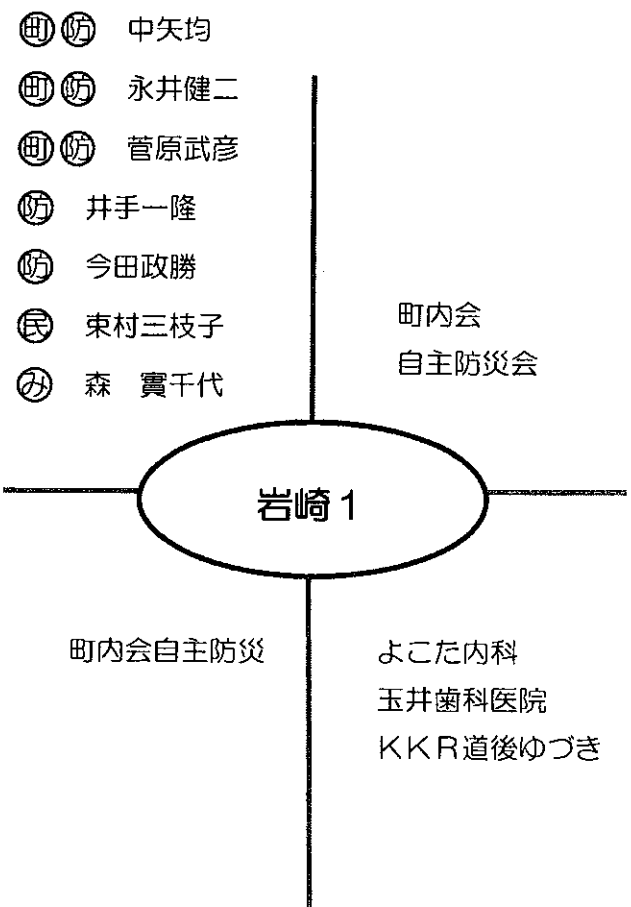
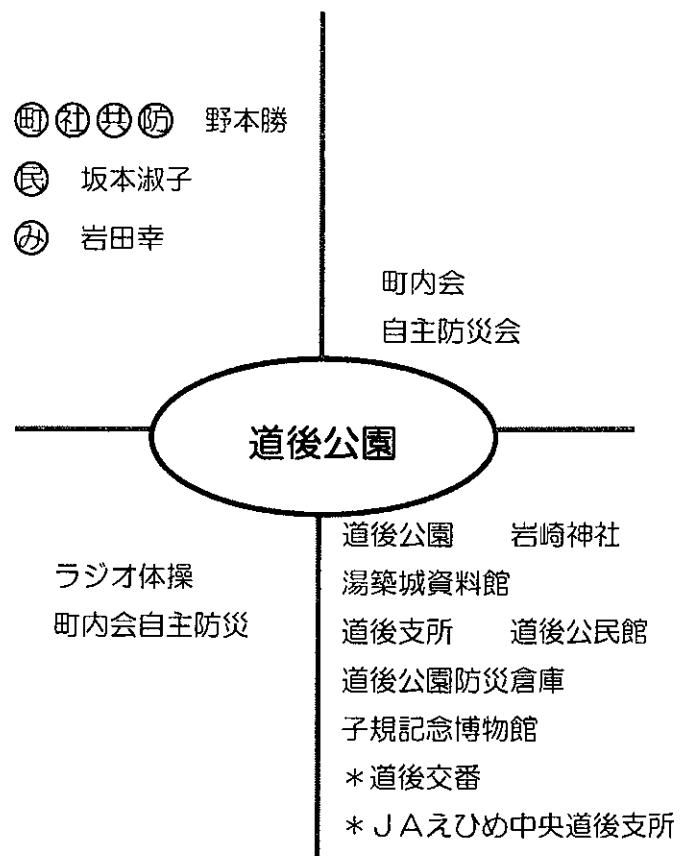
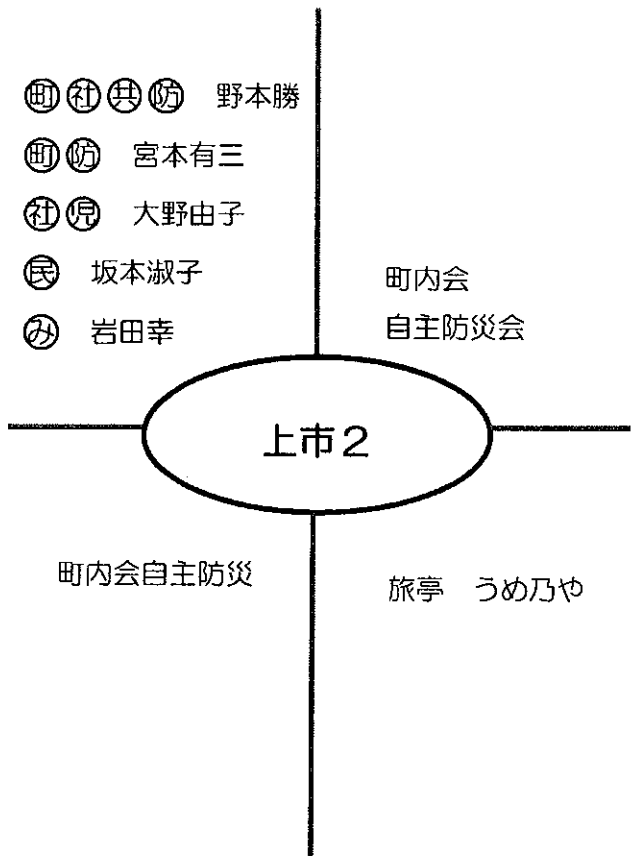
- 町防 佐田修一郎
- 町防 神田慎子
- 町防 西村則康
- 防 田所真司
- 民 上甲麻起子
- み 佃 侑三

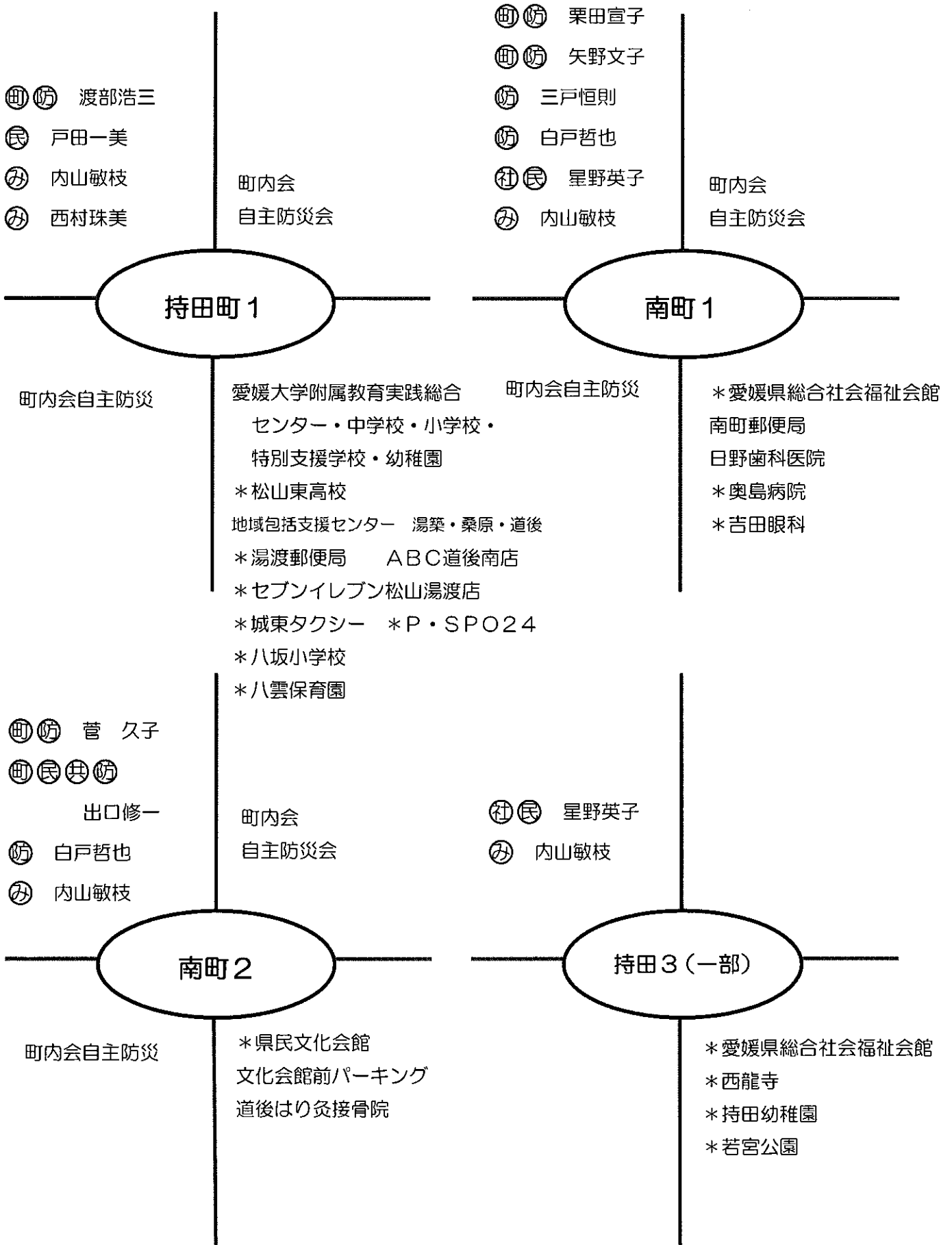
町内会
 自主防災会

上市1

町内会自主防災

道後中学校
 道後ポンプ蔵置所兼
 水防倉庫





☆道後地区社会福祉協議会の年間行事概要

- | | |
|-----------------------------|---|
| (1) ふれあい・いきいきサロン
地域交流サロン | フレアイサロン石手 月3回 第1・2・3水曜開催
道後サロン・マドンナ 月2回 第2・4月曜日開催
フレアイサロン道後 月1回 毎月20日開催
*上記3サロンの交流会 年度1回(12月に開催) |
| (2) 福祉講座 | 年度2回 湯築地区社会福祉協議会と合同で開催 |
| (3) 道後温泉入浴体験 | 年度1回 道後小学校3年生を対象に2学期に実施 |
| (4) 福祉だより
福祉&防災マップ | 年度1回 3月1日発行
5年毎に作成・発行 |
| (5) 公民館各種行事への参加 | 敬老の集い・成人式・文化祭・もちつき大会・
七草がゆの集い・石手地区運動会など |
| (6) 児童・青少年の健全育成 | セーフティ道後・自主防災学習・昔の遊び・
道後中地区別保護者会・夏祭り・少年の日の集いなど
松山東地区少年警察補助員 |
| (7) 高齢クラブ連合会へ支援 | 道後地区愛宕会(慰霊祭) |
| (8) 共同募金活動 | 年度1回 10月~12月 |
| (9) ねたきり・独居高齢者への訪問活動 | 民生児童委員・みまもり員が声かけ・相談などを行う |
| (10) 街頭募金活動 | 当該年度に発生した大規模被災地への支援募金
(市社協の要請を受けて行う) |

*上記の各事業は、共同募金の地区配分金を充当して実施しています。

参考資料

最近4か年の活動記録

- (1) 令和元年度福祉だより 〈抜粋〉

- (2) 令和2年度福祉だより 〈抜粋〉
独居高齢者の福祉に関するアンケート結果報告書

- (3) 令和3年度福祉だより 〈抜粋〉
防災頭巾の製作と贈呈

- (4) 令和4年度道後公民館元気活力講座
親子自主防災学習会

- (5) 令和4年度道後七夕まつり ～願いよとどけ～
道後小学校・道後中学校

- (6) 道後地区福祉&防災マップ (縮小版)



道後地区社会福祉協議会

道後福祉だより

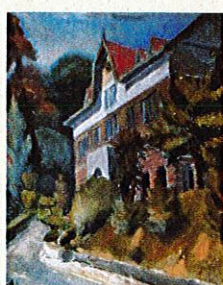
道後地区の動き

面積	2.1km ²
世帯数	5,070戸
人口	11,569人
男性	5,316人
女性	6,253人
65歳以上	2,807人
高齢化率	24.3%

(令和2年2月1日現在)
編集・発行 道後地区社会福祉協議会

昭和22年4月教育制度の改正により道後国民学校から松山市立道後小学校に改称され、新教育が始まりました。30年代の初めには全校児童数は二千人を超え、姫塚校舎(現メルバルク)は教室が足りない状況が続きました。西洋風の校舎の前に広がる校庭(現にぎつつ会館)の一角にはパン工場があり、市内12校へパンが配られていました。

その後、昭和39年湯築小学校を



赤い屋根のモダンな姫塚校舎 (昭和2年~昭和44年)

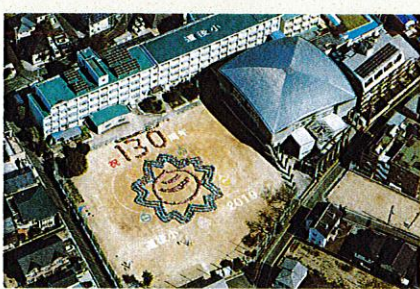
明治23年に学校組合立道後尋常小学校として設立以来、分離統廃合を繰り返して、このたび道後小学校が創立百三十周年を迎え、まことにめでとうございます。その間、明治・大正・昭和・平成・令和と時代の変遷に伴い様々な変化がありました。



道後地区社会福祉協議会 会長 藤家 壽 (昭和35年卒業)

祝 道後小創立百三十周年によせて

今や道後小学校卒業生数は一万四千人を超えました。現在も「いきいき・いそいそ・のびのび」を校訓に伝統を守って「道後っ子」は頑張っています。最後に、歴代ご指導いただいた先生方をはじめPTAおよび地域の皆様を支えられこれからも先人の伝統と誇りを胸に、伸び行く、道後小学校へ歴史を作ってほしいと願っています。



「祝130周年」校章の人文字 (撮影・制作 ユニオンエンタープライズ㈱)


分離新設し、昭和44年道後小の新校舎を現在地(石手4丁目)に移転し、姫塚校舎は43年間の教育の場を終えることになりました。また、この地は道後温泉・湯築城跡・石手川・石手寺に囲まれ、歴史と文化の中心に立地した恵まれた環境にあります。



開封前のタイムカプセルを前に

カプセル開封責任者 兎本 和男
平成元年、道後小学校創立百周年記念事業として埋設したタイムカプセルを、平成31年4月28日に開封致しました。当日は天気も良く、当時の子ども達や子ども達の親、子ども達の子ども、そして地域の方々が約500人以上参加していただきました。30年前に収めた子ども達の作品の保存状態も良く、平成の時代を静かに眠っていた子ども達の作品が無事に終える事が出来たのは、当時のPTA執行部、各学年のお世話係、学校関係の方々、地域の方々のご協力があったことだと思います。本当にありがとうございます。

タイムカプセル開封の報告とお礼



赤い羽根 共同募金のお礼

道後地区共同募金会会長 佃 侑三

地区の皆様方をはじめ、各町内会、民生児童委員の方々には、令和元年度共同募金活動に積極的にご協力を頂き誠にありがとうございました。お蔭で多額の募金を集めることができました。

共同募金の一部は地域に還元され、敬老の集い・高齢者クラブ・青少年健全育成・ふれあいいきいきサロン事業等に活用されます。今後も募金の趣旨をご理解いただきご支援賜りますようお願い申し上げます。

サロン活動

地域の65歳以上の人達を作る、自分達のためのサークルです。道後地区には3サロンあります。近隣の知り合いを増やし、ともに介護予防について学びながら、地域の明るい未来を創っていきましょう。
(2千円までの年会費と市社協の補助金、共同募金配分金からの支援で運営されます。見学自由です。)

サロン活動は、社協の最も大きな事業の一つで、社協および民生委員OBも大勢支援しています。

サロン名	代表者(連絡先)	活動場所	開催日	時間
①フレアイサロン石手	三好美己恵 977-4769	石手分館	第1・3水曜日	13~15時

～笑顔で明るく和気あいあいと活動しています!～

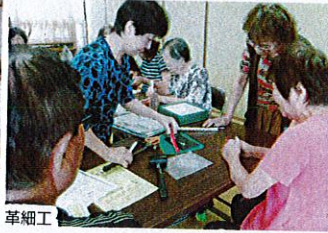
脳トレ・体操をしたり、作品を作ったり、歌を歌ったり楽しく過ごしています。

会員募集中!

現在
男性 4名
女性 21名



オカリナ演奏



革細工



レクリエーション

毎回、脳トレをした後、「まつイチ体操」や開催月によって、王冠で作る鍋敷き・食事会・楽しいヨガ・オカリナ演奏会・よんでんふれあい出前講座・革細工・タオル美術館・新年会などなど。

サロン名	代表者(連絡先)	活動場所	開催日	時間
②道後サロン・マドンナ	宮内 哲男 945-5259	道後公民館	第2・4月曜日	10~12時

～元気で健康な生活!～

仲間とともに《気軽に・無理なく・楽しく》笑顔あふれる時間を過ごす!

現在
男性 3名
女性 23名

会員募集中!



文化祭作品作り



文化祭手芸発表会



輪投げ

毎回、「ゆげゆげ体操」・脳トレをした後、開催月によって、お花見・歌声サロン・輪投げ・子規博見学・ハンドベル・懐かしのメロディ・食の安全教室・笑いヨガ・手芸教室・紅葉狩り・革細工などなど。

サロン名	代表者(連絡先)	活動場所	開催日	時間
③フレアイサロン道後	近藤久美子 933-3252	道後公民館	20日(除土日祝)	10~12時

～お料理をしたり、電子ピアノにあわせて歌ったり、作品を作ったり和気あいあいと楽しくやっております!～ また、脳トレや身近な話題の講演を聞いたりもしています。

現在
男性 2名
女性 20名

会員募集中!



料理教室



陶板の花飾り



小物作り

開催月によって、レクリエーション・日本の歌・料理教室・脳トレと親睦会・陶板の花飾り・予防教室「生活習慣病とは?」・クリスマス会・新年会・反省会などなど。

道後地区社協関連ニュース (2019.3~2020.2)

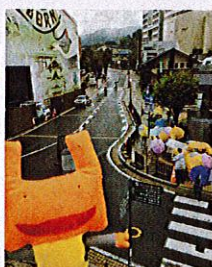
道後温泉入浴体験

R1
10.24水

令和元年10月24日(木)、道後温泉本館の修復工事に伴い、今年度から道後温泉誇れるまちづくり協議会と共同して飛鳥乃湯泉に変更し、道後小3年生128人が3班に分かれて、①入浴 ②第4分湯場見学 ③冠山足湯に入浴など順次場所を移動して実施しました。



道後温泉別館飛鳥乃湯泉



「市社協イメージキャラクター「へこまんくん」も応援に。」



福祉講座

R1
7.16火

R2
1.22水

第1回

令和元年7月16日(火) 出席者約50人

NPO法人ころ塾の村松信一郎氏による「心身ともに健康であるために ～ストレスとの上手な付き合い方～」の講演がありました。



第2回

令和2年1月22日(水) 出席者約40人

「若年性認知症について」愛媛県若年性認知症コーディネーター横田麻弥氏の講演がありました。

地域を支える認知症って・・・

- ・「認知症」を知らないままにたくましく暮らす
- ・できることを認む。できないことを見失る
- ・認知症を予防する知識とノウハウをこれら両者
- ・元氣な頃から地域との繋がりを大切に
- ・自分と繋つたらぬに繋る
- ・愛護力(助けを求めぬ力)
- ・愛護の力がいなくなる

認知症の人も地域に参加し共に暮らす、ともに生きる

共生



敬老の集い

R1
9.16月

令和元年9月16日(月)、満77歳以上の高齢者142人(男性46人・女性96人)が参加して道後小児童による作文朗読、道後保育園児によるフラダンスやカラオケなどで祝いました。



道後地区成人式

R2
1.12日

令和2年1月12日(日)、新成人142人(男性69人・女性73人)が出席し、道後中学の後輩たちによる水軍太鼓の演奏のあと、代表の男女4人から「二十歳のメッセージ」があり、恩師から励ましやお祝いのご挨拶で新成人を祝いました。式後、晴れ着とスーツ姿の記念写真を撮りました。



編集委員
啓発調査部長 藤井 康

昨年末の誌面刷新の検討の頃から新型コロナウイルスが猛威を振るい、国内外の大規模イベントが次々中止になるなど、大変な状況になりました。うがいや手洗いだけでなく、過労を避け、自己免疫力の強化に努めください。

あとがき
編集後記

昨年12月1日付、民生児童委員の一斉改選があり、下記の3人が交替しました。退任の皆様、長い間ありがとうございました。また、新任の方、今後ともよろしくお願ひします。

担当地区	退任者	新任者
石手4丁目(4~7)	藤本 イツ子(6年間)	高須賀 満江
石手5丁目(7・8)・姫塚	宮内 あけみ(21年間)	三好 祐子
岩崎町2丁目(8~12)	宮内 哲男(15年間)	島部 順子

*なお、改選後の民生児童委員の名簿は、6月初め頃に配布する予定です。



道後地区の動き

面積	2.1km
世帯数	5,173世帯
人口	11,199人
男性	5,166人
女性	6,033人
65歳以上	2,819人
高齢化率	25.2%

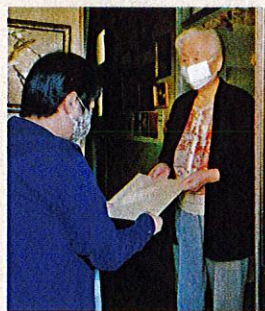
(令和3年2月1日現在)
編集・発行
道後地区社会福祉協議会

◎「進んであいさつをする」「あいさつをされたらする」を合わせると92%。「町内の行事に進んで参加している」「誘われたら参加する」は39%。顔を合わせると声をかけあう土壌はまだありません。

◎「今後利用したい福祉サービス」の中で、今のところ生ごみを出

今年度は、新型コロナウイルスの影響で「新しい生活様式での暮らし」が続き、地域における人と人との絆・つながりがさらに希薄化しています。

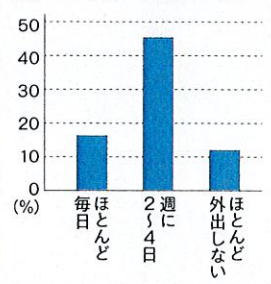
そこで、コロナ禍でも可能と考え、独居高齢者の方々のご協力を得て、アンケート調査を実施しました。まとめたものをピックアップして記述したいと思います。



アンケート調査の様子

「普段の暮らし」の価値が身に沁みる一年でした！
「3密を避ける」この時期こそ「道後地区独居高齢者の福祉に関するアンケート」を実施させていただきました。
(アンケート結果の報告書をご希望の方は民生委員までご連絡ください。)

《例》どれくらい外出しますか？



◎「悩みや心配事はあるか」の問いに対し「健康のこと」が46%、「一人暮らしや孤独になること」が31%でした。

調査結果から、様々な生活支援等について、その多くを子どもとの同居によってカバーされていたものが、同居世帯が減少する中で

◎ふれあい・いきいきサロンについて「知っているが利用したことがない」「知らない」は77%でした。

福祉だより等で情報発信していましたが、行き届いていなかったことがわかりました。

今回のアンケート調査でわかったことを、地域住民が安心して暮らせる地域づくりを進めるための参考資料として活用したいと考えております。

アンケートにご協力いただきました方々に感謝いたします。ありがとうございました。

◎「子どもに代わる人的な生活支援を確保することが課題になっていることがわかりました。」

そうしたことから、独居高齢者には共助による支援が必要であり、地域の支え合いや孤立化を防ぐための高年齢者みまもりネットワーク等の必要性が極めて重要になってきていると感じました。

私たちは皆、いずれ高齢になります。今までもどおりに頑張れないこともあるでしょう。完璧でなくともいい加減でいいのだと自分を認めてあげる気持ちを持って、周りの人を頼ることも必要です。そのようになるための、人と人の関係づくりの必要性も感じます。

子どもに代わる人的な生活支援を確保することが課題になっていることがわかりました。

そうしたことから、独居高齢者には共助による支援が必要であり、地域の支え合いや孤立化を防ぐための高年齢者みまもりネットワーク等の必要性が極めて重要になってきていると感じました。



**赤い羽根
共同募金のお礼**

道後地区共同募金会会長 佃 侑三

地区のみなさまはじめ、各町内会、民生児童委員の方々には、令和2年度共同募金に積極的にご協力いただき誠にありがとうございました。

今年度は、感染予防をしながらの困難な募金活動でしたが、お陰様で多額の募

金を集めることができました。

共同募金の一部は地域に還元され、高齢者クラブ・青少年健全育成・ふれあいきいきサロン事業等に活用されています。今後とも募金の趣旨をご理解いただきご支援賜りますようお願い申し上げます。

サロン活動

地域の65歳以上の人達を作る、自分達のためのサークルです。道後地区には3サロンあります。近隣の知り合いを増やし、ともに介護予防の世界を学びながら、地域の未来を創っていきましょう。
(2千円までの年会費と市社協の補助金、共同募金配分金からの支援で運営されます。見学自由です。)

サロン活動は、社協の最も大きな事業で、社協OBも大勢支援しています。

令和2年度のサロン活動は、新型コロナの影響でやむなく一時中止となりました。夏前後に、3サロンとも再開できるようになりましたが、歌と演奏は中止、そして全体の時間を短縮という制約の中での再開を余儀なくされています。

サロン名	代表者(連絡先)	活動場所	開催日	時間
①フレアイサロン石手	三好美己恵 977-4769	石手分館	第1・2・3水曜日	13~15時

～ 笑顔で明るく和気あいあいと活動しています! ~

現在
男性 2名
女性 21名

会員募集中!



コロナのため、6月まで中止。てくてくデイ・脳トレ・まっイチ体操・つまみ細工ストラップ作り・フラワーフォトスタンド作りなど。

サロン名	代表者(連絡先)	活動場所	開催日	時間
②道後サロン・マドンナ	宮内 哲男 945-5259	道後公民館	第2・4火曜日	10~12時

～ 元気で健康な生活! ~

現在
男性 3名
女性 19名

会員募集中!



コロナのため、9月まで中止。脳トレ・ゆげゆげ体操・ディスコン・フラワーアレンジメントなど。

サロン名	代表者(連絡先)	活動場所	開催日	時間
③フレアイサロン道後	内山 敏枝 947-7008	道後公民館	20日(除土日祝)	10~12時

～ お料理をしたり、電子ピアノにあわせて歌ったり、作品を作ったり
和気あいあいと楽しく やっております! ~

現在
男性 2名
女性 19名

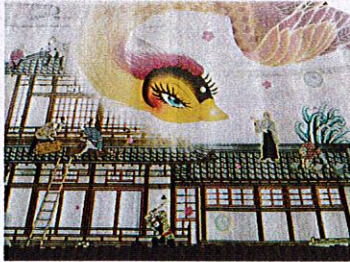
会員募集中!



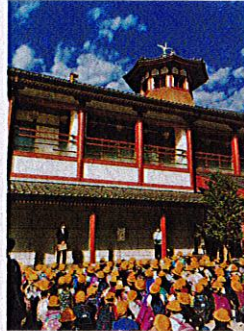
コロナのため、6月まで中止。てくてくデイ・脳トレ・小物作り(写真立て・クリスマスツリー・ひな飾り)など。

道後地区社協関連ニュース (2020.3~2021.2)

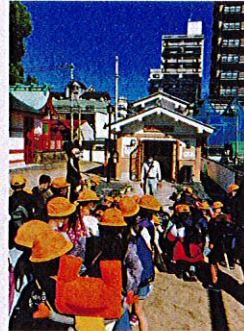
道後温泉入浴体験



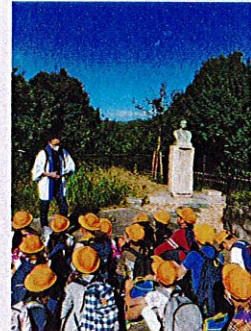
道後温泉本館



飛鳥乃湯泉



道後温泉第4分湯場



冠山・道後温泉の源泉を掘り当てた塩田岩治氏胸像

令和2年10月21日(水)、道後小3年生129人が行う入浴体験は、コロナ感染予防策として入浴を中止し、湯神社や中嶋神社を含め、道後温泉周辺の施設を広く回り、より詳しい解説で実施されました。

令和2年10月30日(金)、地区社連第3ブロックB(道後・湯築・桑原)研修会。松山市在宅医療支援センター副センター長高須賀紀子氏による「コロナ禍における地域福祉活動の留意点」と題してリモート(遠隔)での講義がありました。



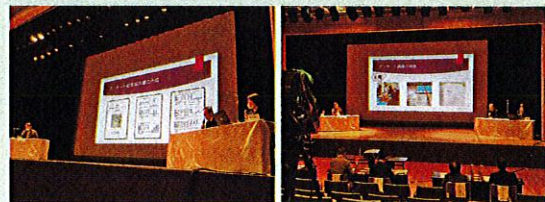
令和2年12月18日(金)、年に1回3サロンの役員が一堂に会し、今年度の活動状況を報告し、情報交換・意見交換を通じて、翌年度の構想を練りました。



令和2年12月25日(金)、コロナ禍の時期に何ができるか? アンケート調査の企画・実施・分析・製本まで仕上げることができました。



令和3年1月20日(水)、「令和2年度 地域のお宝発表会 in まつやま」が開催され、発表3地区の中、道後地区は「アンケート調査」の発表を行いました。



編集委員
啓発調査部長 藤井 康

1918~19(大正7~8)年のスペイン風邪が歴史上最大のパンデミックらしく、日本でも5500万人の国民の43%が感染してしまい、39万人が死亡しています。当時の不安や恐れ、困難・悲しみを乗り越えた事実はあまり話題にされませんが、偉業だと思います。

あとがき
編集後記

令和2年12月1日付で、下記の2人が交代いたしました。退任のお二人、長い間ありがとうございました。また、新任のお二人は、今後ともよろしくお願いいたします。

担当地区	退任者	新任者
岩崎町2丁目(1~7)	民生児童委員 田中千秋(7年)	水木由里子
道後地区全域	主任児童委員 兔本和男(19年)	京河一臣

道後地区

独居高齢者の福祉に関するアンケート

結果報告書



道後地区民生児童委員協議会

道後地区社会福祉協議会

独居高齢者福祉に関するアンケート調査について（報告）

本年2月頃より、日本でも感染が伝えられるようになった新型コロナウイルスが、まさか現在に至るまで猛威を振るうなど、誰も予想をしなかったことです。

このような中、社会生活や経済は自粛と縮小を余儀なくされ、私たちは感染予防に努め、我慢と辛抱に明け暮れる毎日を過ごしています。主な感染予防対策として「3密を避ける」を実践していますが、地区民生児童委員活動等多人数が集まる会議等行事のほとんどが縮小または中止になっています。一方、地域における人と人との絆・つながりがますます希薄になっています。特に、ひとり暮らしの高齢者は孤立し、生活上の不安や困難に直面していると考えられます。

そこで、ひとり暮らし高齢者の在宅での生活に焦点をあて、対象者の周囲との関わりを含めた日常生活上のニーズや同ニーズに対応する地域の支え合いに対する期待等について、アンケート調査を実施することにより明らかにすることにしました。

調査結果から、様々な生活支援等について、その多くを子どもとの同居によってカバーされてきたものが、同居世帯が減少する中で子どもに代わる人的な生活支援を確保することが課題になっていることがわかりました。

そうしたことから、独居高齢者には共助による支援が必要であり、地域での支え合いや孤立化を防ぐための高齢者みまもりネットワーク等の必要性が極めて重要になってきています。今回のアンケート調査で、わかったことを、ひとり暮らし高齢者をはじめ地域住民が安心して暮らせる地域づくりを進めるための参考資料として活用したいと考えております。

令和2年12月

道後地区民生児童委員協議会
道後地区社会福祉協議会

今後の活動に活かすために

民生委員制度創設 100 周年にあたり、令和元年度に道後地区民児協の「活動強化方策」及び平成 30 年度に道後地区社協の「地域福祉活動計画」を作成した。それらを基に下記の目標に重ね合わせまとめることとした。

1 地域のつながり、地域力を高めるために

- ◎ 「進んであいさつをしている」「あいさつをされたらする」を合わせると 92%である。「町内の行事に進んで参加している」「誘われたら参加する」は 39%である。顔を合わせると声を掛け合う土壌はあるので、町内行事においても、誘い合い参加できるように、つながり強化、支え合える仕組みづくりを行う。
- ◎ 「緊急避難をする場合、何に基づき避難するか」の問いに対し「災害避難情報の放送やテレビを見て」と「自分で判断して」が 75%となっている。現在のところ正しい判断で行動できているが、今後さらに高齢になることを自覚していただき、支え合う必要性及び正しい情報を伝えていく。
- ◎ 「今後利用したい福祉サービス」のその他では、生ごみは大丈夫であるが、重いゴミ出しに困っている。元気ではあるが徐々に体力の衰えは感じているようである。ちょっとした助け合いや気遣いができる地域をつくっていく。
- ◎ 外出については、84%の方々は、バス・電車・徒歩・タクシーで出かけているが、「ほとんど外出しない」16%の理由は「健康上の理由（足腰が痛い）」67%と答えている。孤立しないように民生児童委員やみまもり員の声掛けだけでなく、みまもり体制をつくる。
- ◎ ふれあい・いきいきサロンについて「知っているが利用したことがない」「知らない」は 77%であった。福祉だより等で情報発信していたが、今後は必要な情報は、1 人ひとりに伝えていき、高齢者同士が交流し、学び合える集いの場を充実していく。

2 様々な課題を抱えた人々を支えるために

- ◎ 男性は、消極的なコミュニケーションのためか男性のみまもり対象が少ない。男性の一人暮らしの方に声をかけて信頼関係を結ぶ努力をし、地域とつなげていく。
- ◎ クロス集計では、「健康でない」と回答した方の中で「悩み事や心配事がある」と回答した方は、30.1 %、「健康でない」と回答した方の中で「生きがいを感じない」と回答した方は、11.1 %であった。その方々に対し、一人ひとりに合った信頼関係を築きながら、人とのつながりや「助けて」と言ってもよいことを知ってもらえるよう努力する。
- ◎ 「悩みや心配事はあるか」の問いに対し「健康のこと」46%。「一人暮らしや孤独になること」31%であった。「健康のこと」に対しては、医療と介護をセットとして支援していく。「一人暮らしや孤独になること」については、家事的支援、精神的支援両面の地域支援ができるように、様々な提案を行っていく。
- ◎ コロナ禍の中、人との距離を取らなければならない状況であるが、ストレスをためないように、このような中においてもつながりや温かさを感じられる地域にしていく。
- ◎ 「地区社会福祉協議会を知らない」が 61%であった。今後、正しい情報や必要な情報を地域住民に広く知らせるためや地域住民同士の支え合いを行っていき、地区社会福祉協議会の存在意義を知ってもらう。

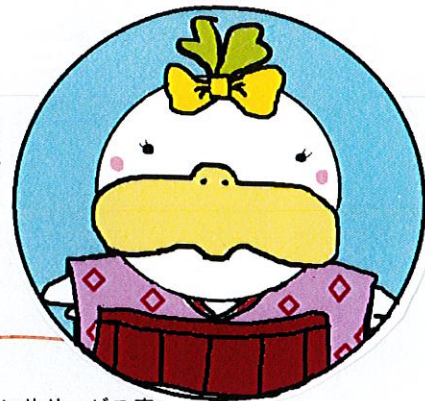
民生委員やみまもり員に望む事、日頃から考えている事、思っている事を記入してください

- ・月1回以上は来てほしい。 ・月1回の訪問でいい。
- ・コロナや病気や生活のことですが、心の不安が多くなりました。
- ・地元のことをわかっている方に民生委員になってほしい。
- ・出かけているのでお会いしにくいので、来るときは連絡してほしい。
- ・今までとは違い、人にしてもらうことに慣れず心苦しくなることが多い。これからはできないことも多くなるから慣れないといけないと思っています。
- ・お忙しいと思いますが、月に1度でも3か月に1度でも来て頂ければ、皆様心強いのではないのでしょうか。特に独居高齢者の方々は望んでおられると思います。
- ・友達がいない、数日一人で一言もしゃべらないで過ごすことが多い、体調が落ち着いたら友達探しをしよう。
- ・独居高齢者にとって生死問題は切実なことです。お忙しいなか訪問していただくことは感謝のほかありません。
- ・民生委員・みまもり委員がよく気を付けて訪問してくださるのでうれしく安心。
- ・いつも親身になってお世話くださり感謝しています。信頼感があります。
- ・皆様のご厚意に甘えて、今の幸せがあることに感謝しています。
- ・民生委員にこまめに対応してもらっています。
- ・これからも民生委員やみまもり員の方にお世話になることになると思いますのでよろしくをお願いします。
- ・いつも親切にしてください感謝しております。住み慣れた家に住みたいけれど、身体が不自由になれば難しいと思います。
- ・毎月暑い日も寒い日も来ていただいて本当にありがたく、元気をもらっています。
- ・心にかけてくださっている方がごく近くにいてくださることが心丈夫です。
- ・暑いなか訪問いただく事を大変感謝しております。いつ来られるかわからないので、留守の時は失礼します。
- ・月々来てもらって話を聞いてもらいありがたいと思っています。
- ・折に触れ訪ねてくれる人が何人かいらっしゃるので心強いです。
- ・時々訪問くださり優しいお声掛けにうれしく感謝しております。
- ・いつもやさしく笑顔で訪問いただき感謝しています。健康に気を付けてご迷惑をおかけしないように、心新たに元気をいただいております。ありがとうございます。
- ・今の生活は、皆様のお陰だと感謝しています。



ちーむ湯築・桑原・道後

<防災頭巾の製作と贈呈>



地域のサロンやサービス事業所の方に協力いただき、製作しました。



民生児童委員の方々とともに訪問し、地域のお一人暮らしの高齢者に防災頭巾を贈呈いたしました。



【防災頭巾作り】

6月中旬以降、お休みしていたサロンが再開し、道後地区の3つのサロンへお邪魔し、手作りの防災頭巾を一緒に作らせてもらいました。

皆様から笑顔と元気パワーを注入され、あっという間の楽しい時間を過ごさせていただきました。

皆様が一生懸命に作ってくださった防災頭巾は責任をもって同道後地区のおひとり暮らしの方へお届けしたいと思います。その際は民生児童委員の方々、よろしく願いいたします。



ひまわりのような笑顔がいっぱい☺



この防災頭巾を作るのに、圏域のケアマネさんへ余剰品タオルの寄付を呼びかけたところ、たくさんの方にご協力をいただきました。

「本当にありがとうございます♡」





道後地区の動き	
面積	2.1km ²
世帯数	5,289世帯
人口	11,320人
男性	5,196人
女性	6,124人
65歳以上	2,860人
高齢化率	25.3%
(令和4年2月1日現在)	
編集・発行 道後地区社会福祉協議会	

自然災害に備え防災マップを作成！

5年ぶり第2版を全戸配布

道後地区社会福祉協議会では、地球温暖化とともに頻発する大雨・洪水・土砂災害や来るべき「南海トラフ巨大地震」などに備えるため、「道後地区福祉&防災マップ」第2版を作成し、道後地区の全戸に保存版として配布することにしました。

近年はいつどこで天災が起こってもおかしくない状況にあります。現に、松山市には、土砂災害警戒区域が数多くあり、道後地区にも該当箇所があります。

このような大規模災害発生時には、地域住民自身が「自分の命は自分で守る」「自分たちの町は自分たちで守る」更には「自助・共助に基づく地域防災力」を高めるための参考資料として活用してほしいと思います。



防災マップ(ハザードマップ)の変更点

令和3年5月20日から避難情報等について変更がありました(右図)。それまで定めていた ①避難準備・高齢者等避難開始 ②避難指示・避難勧告 ③災害発生情報を警戒レベル1~5の5段階に改めたことです。これにより従来の避難勧告は廃止となり、警戒レベル4の避難指示で危険な場所から全員避難することになりました。特に、警戒レベル5は緊急安全確保と既に命が危険な状況であり、この発令を待ってはいけません！ なお、警戒レベル3は、高齢者以外の人も危険を感じたら自主的に非難するタイミングです。



いざという時に備えて……

災害などから命を守るためには、防災グッズを備えるなど自助・共助が重要なことはこれまでの経験から明白です。そして、家族、近所、職場、地域などの「つながり」や「お互いさま」の気持ちが「備え」の重要な鍵となります。

最後に、災害時の対応や連絡方法など「災害時のわが家のルール」について1年に一度は家族防災会議を開き、家族全員で話し合って確認しておくことが大事です。その際、自分たちが住むまちの地形や災害履歴などの特性を知ることも重要です。是非調べておいてください。

防災・減災のキーワード 【地域の底力が人を救う！】

**赤い羽根
共同募金のお礼**

道後地区共同募金会会長 佃 侑三

地区のみなさまはじめ、各町内会、民生児童委員の方々には、令和3年度共同募金に積極的にご協力いただき、誠にありがとうございました。

今年度は、感染予防をしながらの募金活動でしたが、お陰さまで多額の募金を集めることができました。

共同募金の一部は地域に還元され、高齢者クラブ・青少年健全育成・ふれあいいきいきサロン事業等に活用されています。今後とも、募金の趣旨をご理解いただき、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

サロン活動

地域の65歳以上の人達を作る、自分達のためのサークルです。道後地区には3サロンあります。近隣の知り合いを増やし、ともに介護予防の世界を学びながら、地域の未来を創っていきましょう。
(2千円までの年会費と市社協の補助金、共同募金配分金からの支援で運営されます。見学自由です。)

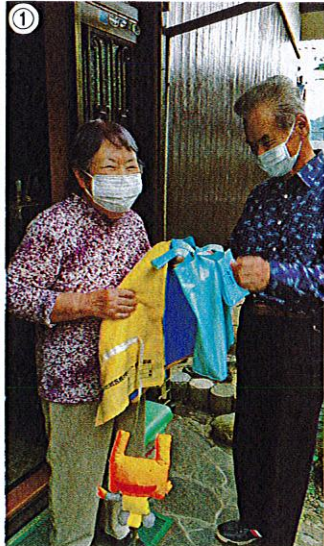
サロン活動は、社協の最も大きな事業で、社協OBも大勢支援しています。

令和3年度のサロン活動は、昨年に引き続き新型コロナの影響で中止・再開を繰り返しながら、時間も1時間に短縮となり、歌や演奏や茶話会などはなく、脳トレ中心で体操・レクリエーション・手芸など限られた中で行っています。



サロン名	代表者(連絡先)	活動場所	開催日	時間
①フレアイサロン石手 (男性4名 女性20名)	村井 和子 977-0930	石手分館	第1・2・3水曜日	13~15時
	脳トレ・まっイチ体操・つまみ細工ストラップ作り・フラワーフォトスタンド作り			
②道後サロン・マドンナ (男性3名 女性16名)	宮内 哲男 945-5259	道後公民館	第2・4火曜日	10~12時
	脳トレ・ゆげゆげ体操・ディスコン・フラワーアレンジメント			
③フレアイサロン道後 (男性2名 女性18名)	内山 敏枝 947-7008	道後公民館	20日(除土日祝)	10~12時
	てくてくデイ・脳トレ・小物作り(写真立て・クリスマスツリー・ひな飾り)			

道後地区社協関連ニュース (2021.3~2022.2)



① 防災頭巾を作り独居高齢者へプレゼント (8月~10月)

包括支援センター桑原・道後の提案により、フレアイサロンやサービス事業所が協力し、防災頭巾を作成し、地区の独居高齢者(民生委員がみまもりをしている独居高齢者)約100名に配付しました。

② 道後温泉入浴体験事業 (10月19日)

今年度で10回目を迎えました。コロナ禍により、入浴はせず、冠山、空の散歩道、湯神社、中島神社、飛鳥乃湯泉、榎の湯、分湯場の見学や研修を行いました。

③ 第40回高齢社会をよくなる女性の会全国大会in松山に出席 (10月23,24日)

人生100年時代の「地域社会のあり方」「介護のあり方」「家族のあり方」を考えました。

④ 道後地区周辺防災訓練に参加 (11月11日)

道後公園史跡公園東グラウンドで行われた訓練に参加しました。「コロナ期における防災訓練」「全天候型訓練」「アマチュア無線」「実災害に即した訓練」が行われました。

⑤ 地区社連第3ブロックB研修会に出席 (11月30日)

「311を教訓に！防災・減災社会の実現を」と題した「NPO法人えひめ311」副代表澤上幸子氏の講演をお聞きしました。

地域の話題

紅葉町町内会の石手川河川敷清掃

石手川緑地公園のお掃除を、地域の方が中心になり、毎年4月から10月第4日曜日の9時から10時まで行っています。

興味のある方はぜひ参加してください。きれいになって気持ちがいいです。



編集後記

今号より保管を考え、左綴りにしています。

一方、防災マップは情報が多く、校正もすごい量でした。

編集委員

啓発調査部長 藤井 康

令和4年度 元気活力講座



親子自主防災学習会



震災(地震)・火災(火事)・風水害(台風・津波・洪水)はいつ起きるかわかりません。日頃から災害に備えることが大切です。そこで、みなさんが住む地域の災害時に利用する施設や設備を知り、体験することで、いざという時の家庭の備えを考えるきっかけとしていただきたく、親子で学習する集いを計画しましたのでご参加下さい。

主催 道後公民館・青少年教育部

日時 5月15日(日) 9時30分～12時00分

(9時から受付 小雨決行 荒天中止)【雨具持参】

場所 道後公民館 正面駐車場【集合】(道後町一丁目5-31)

活動内容 ①道後公園「防災かまどベンチ」見学

②道後中学校「マンホールトイレ、防災かまどベンチ
応急給水栓」見学

③松山市道後分団 道後ポンプ蔵置所 見学

「メスティン炊飯」体験、ドローン飛行デモンストレーション(ほか)

募集人数 10組(保護者1名につき児童2名まで、1組最大3名まで。[保護者2名児童1名も可])
(道後小・湯築小で各10組)



松山市東消防署 消火第1担当……………菅 伊知郎 消防司令補

道後地区自主防災会……………井手 一隆 防災士

松山市公営企業局 企画総務課……………和田 麻衣 主査

松山市総合政策部 防災・危機管理課……………築山 誠 副主幹、村上 祐介 技師



消防車試乗・道後ポンプ蔵置所見学



かまどベンチ



マンホールトイレ



応急給水栓

のめるん



メスティン炊飯



ドローン飛行体験

道後地区福祉&防災マップ

道後地区福祉&防災MAP

～保存版～

第2版

平成28年12月に「道後地区福祉&防災マップ」(第1版)を作成しました。その後平成30年7月には西日本豪雨災害が発生し、県下にも大きな被害をもたらしたことは記憶に新しいところです。このようにいつ・どこで起こるか分からない自然災害等に備えるため、5年ぶりに「防災マップ」(第2版)を改訂しました。このマップを身近な場所に置いてご家族で災害時の避難場所や緊急連絡方法を確認するなど、いざという時に備えましょう。

令和4年3月 道後地区社会福祉協議会

福祉マップ地図記号

- 指定緊急避難場所
- 指定避難所
- 応急救護所
- 救急医療機関
- 身体障がい者トイレ
- スロープ有トイレ
- 防災行政無線(広報サイレン)
- 土砂災害(急傾斜・土石流)警戒地域
- 土砂災害(急傾斜・土石流)特別警戒地域
- 急傾斜地崩壊危険箇所
- 水防倉庫
- 消防署
- AED設置箇所
- 交番
- 郵便局
- 神社
- 寺院
- 銀行
- スーパー
- コンビニ
- ドラッグストア
- 宿泊施設
- 公衆電話
- バス乗り場
- タクシー乗り場
- 駐車場
- 山腹崩壊危険地区
- 土石流危険区域

もしもの時の連絡先

- 消防(火災・救急・救助) 119**
【落ち着いて次のことをお知らせください】
1. 火災なのか救急なのかはつきり
2. 場所
3. 状況
4. あなたの名前と電話番号
 - 警察(事件・事故) 110**
【落ち着いて次のことをお知らせください】
1. 事件なのか事故なのかはつきり
2. 事件・事故の所在地
3. けが人がいるか
4. 事件・事故の状況
5. あなたの名前・住所・電話番号
 - 災害用伝言ダイヤル 171**
(災害時電話が不通な場合に音声で確認・登録できます)
- | | |
|-----------------------|----------|
| 松山市消防局 | 926-9200 |
| 東消防署 | 933-0876 |
| 松山市災害対策本部(設置時) | 987-7000 |
| 松山市危機管理課 | 948-6793 |
| 火災等災害用テレホンガイド(松山市消防局) | 925-6622 |
| 救急病院案内(松山市消防局) | 925-6633 |
| 松山市急患医療センター | 922-1199 |
| 松山市保健所 | 922-2399 |
| 松山市社会福祉協議会 | 941-4122 |
| 松山市地域包括支援センター 桑原・道後 | 993-5666 |
| 道後支所 | 941-5206 |
| 道後公民館 | 921-0430 |

避難をするとき

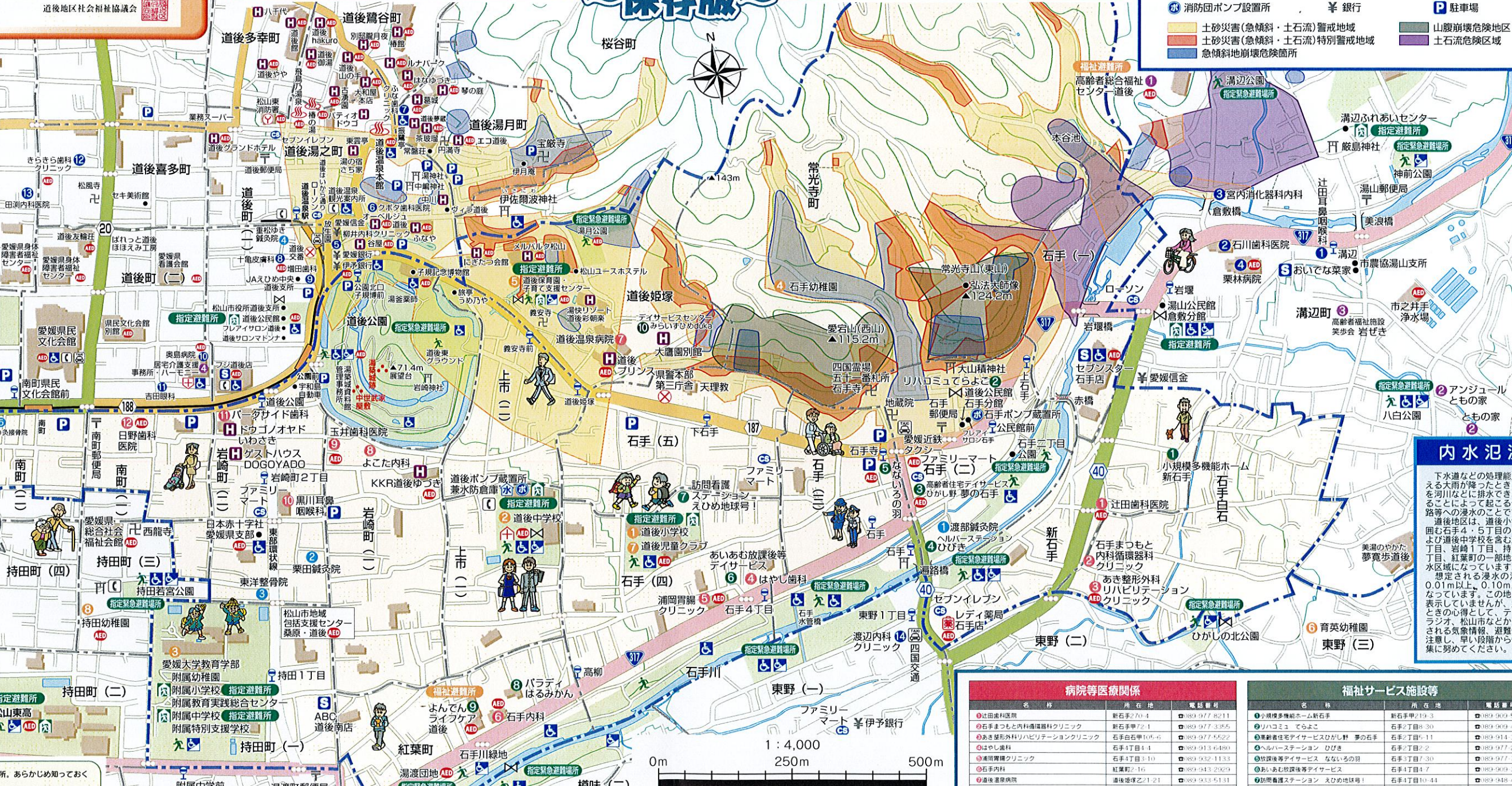
危険を感じたときはすぐに避難を！
まず近くの指定緊急避難場所へ
状況がひとまず落ち着いたら最寄りの「指定避難所」へ避難

避難所

- 指定緊急避難場所**
公園、緑地など災害時の危険を回避するために一時的に避難する場所。近隣が集まり、安否確認、指定避難所や福祉避難所へ
- 指定避難所**
災害によって短期間の避難生活を余儀なくされた場合に、一定期間の避難生活を行う施設。(道後小・中学校や道後公民館など)
- 福祉避難所**
高齢者や障がい者、妊産婦など、避難所での生活に特別な配慮が必要と判断された人が、指定避難所から移り避難生活を行う施設。災害発生直前から避難所として利用することはできません。

全国瞬時警報システム(Jアラート)の概要

弾道ミサイル情報、津波警報、緊急地震速報など、対処に時間的余裕のない事態に関する情報を国(内閣官房・気象庁から消防庁を経由)から送信し、市町村防災行政無線(同報系)等を自動起動することにより国から住民まで緊急情報を瞬時に伝達するシステム。



内水氾濫

下水道などの処理能力を超える大雨が降ったときに雨水を河川などに排水できなくなることによって起こる住宅道路等への浸水のことで、道後地区は、道後小学校を囲む石手4・5丁目のおよそ1丁目、持田1丁目、持田2丁目、紅葉町の一部地域が浸水区域になっています。想定される浸水の深さは0.01m以上、0.10m未満となっています。この地図上に表示していませんが、大雨の浸水の心算として、テレビやラジオ、松山市から配信される緊急情報、避難情報に注意し、早い段階から情報収集に努めてください。

病院等医療関係

名称	所在地	電話番号
石川内科	石手2丁目70-4	089-977-8211
石手まつもと内科循環器科クリニック	石手2丁目8-30	089-977-3395
あき整形外科	石手5丁目105-6	089-977-5522
はやし歯科	石手4丁目4	089-977-6480
渡辺内科クリニック	石手4丁目10	089-977-1133
石手内科	紅葉町2-16	089-943-2929
道後温泉病院	道後温泉2-21	089-933-5131
よこた内科	岩崎町1丁目8-41	089-945-8811
よま井産科	岩崎町1丁目8-24	089-932-8381
松川耳鼻咽喉科	岩崎町1丁目6-18	089-915-0007
パークサイド歯科	岩崎町1丁目11-10	089-986-7888
日野眼科	東野1丁目6-29	089-921-3213

福祉サービス施設等

名称	所在地	電話番号
小規模多機能ホーム新石手	新石手2丁目19-3	089-900-5157
リハコム どの家	石手2丁目8-30	089-900-4410
高齢者住宅サービスセンター 夢の石手	石手2丁目5-11	089-914-3300
ヘルパーステーション ひびき	石手2丁目2-2	089-977-2928
介護福祉サービスセンター なないろの羽	石手3丁目7-30	089-977-7717
あいあむ放課後等デイサービス	石手4丁目1-7	089-909-3667
訪問看護ステーション えひめ地球号!	石手4丁目10-44	089-948-4136
パラディ はるみかん	紅葉町2-16	089-907-1384
よま井アフケア	紅葉町2-27	089-986-8100
デイサービスセンター みらいずみほか	道後温泉2-21	089-993-5611

早めの避難が命を守る!

災害情報には、松山市が出す避難情報、気象庁・愛媛県が出す防災気象情報があります。これらの情報に注意し、段階に合わせた適切な行動をとります。

警戒レベル	市民の皆さんがとるべき行動	避難情報など	警戒レベル相当情報
警戒レベル5	災害が発生・切迫している状況です。命を守るための重要な行動をとります。	緊急安全確保(松山市が発令)	大雨特別警報(気象庁が発令)
警戒レベル4	速やかに避難行動をとります。避難場所までの移動が自然と思われる場合は、近くの安全な場所への避難をとりまわすより安全な場所に避難しましょう。	避難指示(松山市が発令)	土砂災害警戒情報(気象庁と愛媛県が発令)
警戒レベル3	高齢者の内、障がいのある方、乳幼児など、避難に時間がかかる人との避難行動は避難行動をとります。	高齢者等避難(松山市が発令)	大雨警報(気象庁が発令)
警戒レベル2	避難に備え、ハザードマップにより、自らの避難行動を確認しましょう。	大雨・洪水・高潮注意報(気象庁が発令)	早期注意情報(気象庁が発令)
警戒レベル1	災害への心構えを高めましょう。		

第2期 道後地区地域福祉活動計画

発行：道後地区社会福祉協議会

《問い合わせ先》

松山市社会福祉協議会 地域福祉部

〒790-0808

松山市若草町8番地2 松山市総合福祉センター内

TEL：089-941-3828 / Fax：089-941-4408

Web アドレス <http://www.matsuyama-wel.jp/>

E-mail chiiki@matsuyama-wel.jp

発行日：令和5年3月